



むらさん

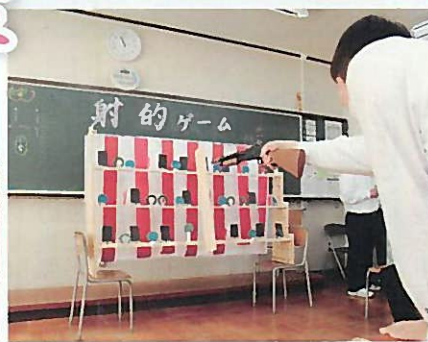
第18号

発行者
山形県立村山産業高等学校
PTA広報委員会

印刷
中央印刷(株)村山支店
TEL 0237(55)3700



村産祭



日頃、本校の教育活動につきまして、ご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、本校でも大きな課題の一つである入学者確保対策も兼ね、今年度新たに二つの取り組みを実施しました。

一つは、十月三十日の「ムラサンキタマチマルシェ」の開催です。地域の小中学生、保護者、市民の方々に、本校で生徒が生き生きと活動する様子を紹介するために開催しました。当日は、各学科による販売、課題研究の成果発表、ワークショップを行い、一、五〇〇名を超える方々が来場され、本



ともに意見を出し合い、課題を解決できるPTA活動に

校長 伊藤 久敏

校への理解を深めていただくことができたと考えています。

二つは、通学バスの増便です。最寄りのJR村山駅との冬季の通学事情は特に厳しく、安全確保に取り組む必要があります。また、保護者の方々の朝夕の送迎の負担も大きく、バス増便の要望がありました。今年、PTA、教育後援会、村山市のご支援で、一月六日から朝夕各一便の増便が実現しました。今後も、保護者と教職員がともに意見と知恵を出し合い、課題を解決するPTA活動を目指します。皆様には、今後ともご支援をお願い申し上げます。



存在意義

PTA会長 柴崎 雅典

今年度は「リアル開催」という言葉をよく耳にする等、様々な行事で三年振りの開催が増えた一年となりました。

生徒の活躍については、新聞やTV等マスコミに取り上げられる機会が数多くあり、目や耳にする度に学校を誇らしく思えた年でした。

今企業では、パーパスというワードがクローズアップされ社会にとつて企業は何のために存在しているのかという存在意義が問われています。

高校にとつても同様で村産は何のために存在しているのか、ということになります。が、村産にとつて答えは明確です。なぜなら、マスコミで取り上げられる活動ができる学校は他にはなく、地域産業を担う学生を育成する大切な「学びの場」としての存在意義が村産にはあるからです。

子供達にはこの地域になくはない村産でしかできない経験を活かし日々成長できる年にしてほしいです。



PTA副会長 齋藤 淳哉

今年度は、これまでコロナ禍の中で、様々な活動の制限がありました。が、「村産祭」や「キタマチマルシェ」など、沢山の地域の方々足を運んでいただきました。その中で、生徒一人一人が活発に学習成果の発表や生産物等を販売している姿が特に印象に残っています。

また、PTAとしても「村山徳内まつり」に参加をさせていただきました。生徒や先生方と一緒に盛り上がり、改めて、地域に根ざした学校であることに自信と誇りを感じることができました。

来年度は、記念すべき創立十周年の節目の年となります。これまでの歩みを振り返りながら、学校と家庭そして地域のつながりを大切に、PTAが地域の産業を支える人材の育成の一助となればと思っています。

PTA副会長 植松 大祐

今年度は昨年度までとは違い、コロナ禍の中にありなが

らも新しい生活様式の広がりを受け、様々な活動を行うことが出来たのではないのでしょうか。

子ども達の学校内外での活躍は新聞やテレビ等のメディアを通じて大々的に取り上げられ、子ども達の自信や活力に繋がっていると思いますし、我々保護者も大変嬉しく思っているところです。

本年度、初めて村産祭とキタマチマルシェに参加しました。制約がある中で各クラス、科や部活動によって企画された催しは大変活気があり、多くの来場者に恵まれ大変素晴らしいイベントでした。

来年度も子ども達の未来が光り輝きますよう、PTAとしてより一層強力していきたいと思っています。



研修委員長 川田 悟永

今年度もコロナ禍の中で、学校教育の現場も様々な制約の中でのスタートでした。

部活動の大会でも、無観客試合や応援自粛などで、保護者間の交流や親睦など、盛り上りに欠けるものではありましたが、そんな中でも子供達の様々な方面での活躍を耳にし、力強く成長しているなど感じました。

先行き不透明な世の中では有りますが、何事にも挫けず生き抜く力をつけてほしいと親として願うばかりです。

広報委員長 高嶋 秀幸

本会報の文章、多くの功績、マスクの内側に秘められた力強い表情の裏側からは、憤りや葛藤、ひたむきな努力と苦労が伺えます。それは、依然として猛威を振るう脅威に打ち勝って得た学校生活の証でもあります。身に付けたスキルが開花した結果だと感じています。ピンチをチャンスと捉えて活動した内容が満載の会報制作にご協力を頂いた皆様に、心から感謝を申し上げます。

生活委員長 佐藤 誠

いろいろな行事・活動が、制限されました。そんなコロナ禍の中でも、生徒達は、学校生活で学ぶことは、多かったと思います。テレビや新聞・市報などで取り上げられることも増え、先生方をはじめ保護者の皆様の影なる努力を感じます。何より、生徒達の努力は、大きな成長に繋がったことと思います。



三学年委員長 秋葉 良二

ようやく村産祭など、やる事が少しずつ出来た一年だったと思います。ただ、三年生や保護者にとっては「コロナ禍だから仕方ない。」と言う言葉では簡単に片付けられない我慢と悲観の繰り返し。三年間だったと思います。それでも必ず視界が晴れる時が来ます。その時に高校生活三年間の鬱憤を晴らし天高く飛躍する為に今の時にしっかりと準備していきましょう!!

一学年委員長 笠原 秀一

二年生の一大イベントである修学旅行を無事行うことができました。親として行かせたい反面、様々な不安があったと思います。

「最高に良かった」と笑顔で息子が帰ってきて写真を見ながら良かった話や失敗した話を聞き、良い経験ができたと感じました。保護者の皆様、そして準備から引率まで多大なご苦労をお掛けした先生方に感謝申し上げます。

一学年委員長 阿部 正任

学年行事や事業に規制が続く中、学校関係者には御配慮頂き、思い出に残る修学旅行や地域に根ざした活動、保護者、地区民も楽しんだ村産祭など工夫を凝らし進めて頂いたことに感謝を申し上げます。彼らは、中学入学当初から学校行事等の自粛を余儀なくされ、その影響を案じております。広々とした学舎で様々な知識と体験を積み、たくましく成長することを望みます。



生徒会 活動報告

前期生徒会役員

会長	三年四組	土屋 昌大
副会長	三年四組	菊地 湧登
副会長	二年二組	青山 恵澄
議長	三年五組	山方姫華瑠
副議長	二年二組	菅野 一星

後期生徒会役員

会長	二年一組	森谷 岳琉
副会長	二年一組	鈴木 陽太
副会長	一年一組	増川 琳太
議長	二年二組	菅野 一星
副議長	一年二組	原田 陽生

前期生徒会長 土屋 昌大

今年度の生徒会では、生徒会役員一人一人が、「どうやったらできるのか」を模索しながら、様々な活動を行ってきました。二大行事のクラスマッチと村産祭では、招待公演と保護者公開を実施し、大変にございました。

一緒に活動してきた生徒会役員をはじめ、支えてくれた皆さんに感謝しています。

今年度も、生徒会活動にご協力いただき、ありがとうございました。

後期生徒会長 森谷 岳琉

後期の活動報告と致しましては、取り組みとして村産ニュースという放送を使ったもの、新しい形での意見箱の配布といった、今のコロナ禍、一人一台Chromeも持っているという状況だからこそできる企画を考案しました。他にも雪像製作、継続的なボランティア活動を行う様な活動計画を立てました。来年度は、村山産業高校十周年を迎える飛躍の年となります。是非村産の活動に目を向けていただきますと思います。以上よろしくお願ひします。



飛躍

農・工・商

農業経済科 秋葉 悠良

農業経営科三年では、通常の授業に加えて課題研究を行いました。各々がテーマを設定し、一年を通して研究に取り組みしました。その中でも上位の研究者たちは山形テルサで開催された県大会に出場し、発表しました。みんなブラボー！通常の授業は、これまで学んできた技術をフル活用し、自主的に活動できました。特に畜産では、ボロ出しの時間を大幅に短縮できるほどの技術を習得しました。これまでの学校生活は私の記憶に残り続けるでしょう。

これからの人生でかけがえのないものとなる素晴らしい記憶に感謝感激。



農業環境科 草間 亮斗

農業環境科では、スマート林業化に向けた活動を多く行いました。目視で演習林内の木々を確認した後、スマートフォンでのGPS機能を用いて、同じ樹種が密集している場所ごとのエリア分けを行いました。そのデータをパ



ソコン内に取り込み、演習林内のデータを現地に行かずとも閲覧できるようにしました。今年完成したデータは、これからの実習に大いに役立つことだと思っています。このデータをもとに、これからの実習がより良いものになっていけばと思います。今年度はみなさん、お疲れ様でした。

機械科 板垣 智紫

今年度も機械科では、ものづくりや資格取得に一生懸命に取り組みました。特にメカトロアイディアコンテスト山形県大会では準優勝となり青森県で行われた全国大会へ出場することができました。また、ジュニアマイスターでは機械科三年生の二人に一人が称号を与えられ、入学してから検定試験合格の積み重ねが実りました。



電子情報科 多田 悠真

三年間の電子情報科の学習で、私は様々なことを経験してきました。特に印象に残っているのは、二年生の時に部活動で参加したSDPというプログラミング講座です。SEPSでは、アメリカのシリ

コンパレーに在住のエンジニアの方々からZoomを通して教えていただきました。私はその講座の内容を活かし、3Dモデルを3Dstickというマイコンと連動して動かすプログラムを組みました。分らないことが沢山ありましたが、貴重な体験をすることができました。



流通ビジネス科 仲嶋 沙星

流通ビジネス科は卒業後、会計、マーケティング、マネジメント、ビジネス情報と、様々な分野で活躍できるよう、専門的な学習に取り組み、資格取得はもちろん、実習等を通して知識や技術を身に付けています。コロナ禍で就業体験はできませんでしたが、企業・学校見学で進路につながる研修も実施しました。三年生は、商品開発の授業で飲食店とコラボした新メニューを考案・販売、課題研究では菓子店のご協力で「ムラサチ」の商品開発・販売の実践活動等を行うことができました。



三年間の思い出

三年一組 安達 文留

三年一組の三十七人と共に過ごした日々は、人生の中でかけがえのないものとなりました。

それは、一年生の頃から実習などで一つの作業をしたりクラスマッチなどの学校行事などで一致団結することで、クラス内の雰囲気良くなつた気がします。このクラスで過ごせる時間も残りわずかです。卒業後は一人一人別の道へと歩んでいくことになると思いますが、この三年間の思い出は最高なものになりました。



くことになりましたが、この三年間の思い出は最高なものになりました。

三年二組 児玉 勝平

我がクラスはひと味違いです。さつそく三年間を振り返りましょう。一年生の時は、定植から一週間くらいで枯れているD君のトマトを見て笑うR君がいました。それ以外

にも収穫したトマトを教室にずっと放置し、床を白くさせた人もいました。二年生になると、H君がイスでマリオカートをして教室や廊下を暴走していました。また、ロッカーにジャンプで登ろうとして失敗し、脛から血を流して保健室に運ばれたのはR君です。三年生になつてからは、じゃれ合うくらい皆の仲が深まりました。限度を超えてうざい時もありましたが……。とても楽しく、充実したクラスでした。三年間ありがとうございました。



三年三組 芦野 祐寿

私たちの過ごした三年間は異例の三年間でした。私たちのクラスは、個性豊かで、学校も休まず楽しい毎日を過ごしていました。たまにはしゃがみすぎてしまう人もいましたが、大きな問題を起こすこともなく、生活できていたのよかったです。文化祭やクラスマッチでは、素晴らしい団結力でトロフィーや男子

総合一位を取ることができて本当に嬉しかったです。そんな私たちの日常生活は、パワハラ、セクハラ等、様々なハラスメントがとびかかっていました。そんなクラスを三年間見守ってくださった先生方ありがとうございました。



三年四組 小林 琉音

一年時、入学式が四月八日から二十一日へ五月は分散登校で午前授業、午後は帰宅。六月から普通の高校生活が始まった。二年時、十一月の予定だった修学旅行を翌年の二月に延期するもコロナ感染拡大の影響で中止に。しかしインターンシップは三日間企業で頑張つて働いた。三年時、三年間で初めての学年行事で蔵王のお釜周りを散策した。その後の十一月にもリナワールドで楽しい



一日を過ごすことができた。クラスマッチや村産祭もみんな楽しめたと思う。クラスのみんなは何が一番思い出に残っているのか、今度聞いてみようと思う。

三年五組 奥山 愛生

コロナ禍に入学した私たちは、一年生の頃から様々な活動が制限されてきました。学校行事は決して多くはありませんでしたが、その分一つ一つの行事や日常生活が思い出に残っています。特に、クラスマッチや村産祭では、五組全員が協力したことで賞をとることができ、クラスが団結した瞬間でした。五組では常にクラス全員ですることを大切にしていたので、どの行事も笑顔で終えることができました。また、日常的に友達同士で検定勉強をしたりと、お互いを高め合ふことのできるクラスだったと思います。五組で過ごした三年間が私の思い出です。



進路状況

商業科



工業科



農業科



部活動紹介「文化部編」

家庭部

家庭部は、二年生十五人、一年生三人の計十八人で活動しています。主な活動内容は、調理・被服の資格取得や文化祭に向けての製作に取り組んでいます。そして今年度も野菜栽培を行いました。今回はオクラやカボチャなどを栽培しました。来年度は、資格取得に更に力を入れ活動の幅を広げていきたいです。

ビジネス部

ビジネス部は情報処理、商業経済の二班体制で活動に取り組んでいます。情報処理班は全国高等学校ワープロ競技大会県予選会及び県高等学校新人ワープロ競技大会上位入賞を目指し練習に取り組み、東北六県高等学校ワープロ競技大会に初出場することができました。商業研究班は、地域の特産品である食用バラを活用した商品開発に取り組み、「薔薇そうめん」の商品化が実現、国交省主催水の里の旅コンテストで優秀賞を受賞することができました。

農業技術部

さあ、この季節がやってきました！キムチ部こと私たち農業技術部は三年生二名が引退し、現在は二年生九名、一年生六名の計十五名で活動しています。主に家畜への給餌や野菜作りを行っています。雪が降ると自分達で育てた野菜を使って加工品の製造、販売を行っています。去年の十月に行われた王様キャベツの雪太郎コンテストでは特別賞をいただきました。人数が増え、部員みんなで賑やかに楽しく活動しています。

農業科学部

私達農業科学部は、部員数二十四人でサトイモ・芋煮研究班、エンドファイト研究班に分かれて活動を行っています。サトイモ・芋煮研究班では八月上旬に山形県産のサトイモを県民に届けることを目標に活動を行っています。エンドファイト研究班では、植物共生微生物であるエンドファイトを自然界から見つけ、農薬・肥料の使用削減や環境負荷を軽減することを目標に活動を行っています。

吹奏楽部

七月の山形県吹奏楽コンクール最北地区予選大会では

書道部

小編成の部に出場し優良賞を頂きました。「一閃の舞」という日本音楽特有の「間」を追求した作品に取り組みレベルの高い演奏を目指しました。村産祭では、部員以外の助けも借りながらポップスや映画音楽を楽しく演奏しました。十一月には外部の演奏会にて、ソロやアンサンブルの機会を頂き、緊張しながらも充実した経験と積むことができました。基礎力向上を目指し頑張っています。

機械探究部

私たちは、ロボコン山形県大会を準優勝で勝ち抜き、全

電子情報技術部

国大会に初出場しました。また、やまがた高校生ロボコンでは、まろゝずちゃんロボに、オーディオとスピーカーを付け、音楽を流しながら競技しました。他にも斜面の草を刈るラジコン型除草ロボットは県開発工夫展で優良賞、THKものづくりO賞でベスト開発賞、エネコンで日本産業技術教育学会会長賞を受賞しました。自動車アイデアコンテストでは、最優秀賞を受賞しました。

美術部

美術部の今年の活動は、「日進月歩」を目標にし取り組んできました。少人数なが

又新連部

ら、制作の時は集中し、楽しむ時は全員で楽しむというメリハリのある活動でした。また、油彩画制作の時などは、顧問の先生を含めてアドバイスをし合い、各々が少しずつでも高みを目指すことができました。その結果、個人の目標も達成され、様々な賞を獲得することができた一年となりました。

また、村産祭の展示では、多くの保護者の皆様や職員の方々にご覧いただき、ありがとうございました。

今年度は少人数ながら見栄えの良いフォーメーションや演舞を構想し、練習してきました。大きな舞台では、全国家庭クラブ研究大会と日本PTA全国研究大会に招待いただき、大変貴重な経験となりました。また、村山徳内まつりが三年ぶりに実施され、三年生との良い思い出をつくることができました。現在は部員数が減り、県大会への出場もできない状態ではありますが、日々の練習に励み来年度へ繋げて行きます。



部活動等結果報告

国民体育大会全国大会

・自転車競技部
少年男子スクラッチ決勝

女子ケイリン 7位 齋藤 光
女子インディヴィデュアル・ロードレース 出場 菅井 真生

国民体育大会東北予選

・自転車競技部
少年男子スクラッチ 2位 齋藤 光
山形県高等学校新人体育大会

・自転車競技部
1kmタイムトライアル 2位 石川 大雅
1kmタイムトライアル 3位 庄司 大雅

・自転車競技部
ケイリン 1位 石川 大雅
スクラッチ 2位 石川 大雅

・自転車競技部
スクラッチ 2位 石川 大雅
16kmポイントレース 3位 石川 大雅

・自転車競技部
16kmポイントレース 3位 石川 大雅
チームスプリント 2位 田中 啓斗

・自転車競技部
4kmチームパシシュート 1位 石川 大雅
75+3km個人ロードレース 2位 石川 大雅

・自転車競技部
トラック総合 2位 石川 大雅
ロード総合 2位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

・自転車競技部
山形県対抗総合 1位 石川 大雅
山形県対抗総合 1位 石川 大雅

準優勝&ハイテク賞

・ロボットの名「村産」(総帥) 坂垣 智紫・佐藤 龍希

・第30回全国高等学校ロボット競技大会 青森大会 出場 坂垣 智紫・佐藤 龍希

・山形県自動車販売店リサイクルセンター賞 ロボット名「ジャクソン」 伊藤 歩・高橋 和輝・林 明日翔

・第57回山形県発明コンクール 優良賞「自動車を駆動するラジコン型除草ロボット」 坂垣 智紫・相原 元輝・矢口 勇皓

・優良賞「高知の表・裏同時窓拭きワイパー」 坂垣 智紫・相原 元輝・矢口 勇皓

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

・サイエンスキャッスル2022 関東大会 優秀ボススター賞&奨励賞 高橋 京吾・竹村 忠直

審査

・高校生バイオサミット 優秀賞 村山 美夏

・日本土壤肥料学会高校生研究発表 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

・サイエンスキャッスル東北大会 優秀賞 審査員特別賞

冬期間通学の安心・安全を願って

今年度冬期間のバスの増便を始めました。予てから保護者より冬の通学の不便さの改善を求める要望がありました。要望に応えるべく六月から検討を重ねてきました。予算面では村山市に要望してきました。結果、支援をいただくことになり、朝、晩一増便が実現しました。利用している生徒に感想を聞いてみると「昨年はバスに乗りきれず、徒歩で学校にいたことが多々あったのですが、今年はそれがなく快適です。」(三年男子)

「後輩のために来年度も継続してほしい。」(三年女子)との言葉をいただきました。今後、問題点も出てこようかと思いますが、生徒の高校生活の安心・安全を第一に考え継続して行きたいと思っています。



村産ギャラリー

令和4年度広報委員
広報委員長 高嶋 秀幸
副委員長 有路 正浩
委員 奥山 道成
委員 石井 雄一
委員 石川 高弘
委員 板垣 成之
委員 木村 成之
委員 矢萩 和美
委員 下山路 宏
委員 鈴木 正幸
委員 佐藤 弘樹
委員 芦野 喜代和
委員 有路 正浩
委員 高嶋 秀幸